

## かながわ経済新聞 2018.6月号

### 吉田英訓の 連載記事が掲載されました

**派遣の活用法⑥**

前回に続き「無期労働契約への転換と派遣」のつながりについて説明させていただきたいと思います。今回は「無期雇用」と「正社員」の違いについて触れていきます。

そもそも「無期雇用」と「正社員」では、期間の定めがないという点では同じですが、そのほかの労働条件、例えば給与や各種の手当てなどは雇用形態によって変わります。要するに「無期雇用」に転換した＝「正社員」とは必ずしもならないということです。雇用期間は無期になるが、そのほかの条件は転換直前と変わらないというケースが多くあります。

ちなみに弊社でも多少の条件変更はありますが、期間以外はほとんど変わりません。それでは「正社員」ではなく「無期雇用」に転換するこ

とによって何が違ってくるのかを説明します。まずメリットですが次のようなことが挙げられます。

- ▽雇用を保証してもらえる▽就業が絶えず長期的に働くことができるのでキャリアアップが見込める▽派遣期間制限の3年を超えても同じ業務で働ける一などです。
- 逆にデメリットも多少ではありますが、主に次のことが考えられます。
- ▽基本的には派遣の切れ目がなくなるため長期の休暇などが取りづらくなる
- ▽雇用が安定する代わりにさまざまな会社に派遣される可能性がある一などです。

上記のことをよく踏まえ「無期雇用」への転換を図るか、現状のまま（有期雇用）でいるか、働く側も今後考えていく必要があると思います。

(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役/南西フォーラム委員長)



**吉田英訓の**  
**着眼大局 着手小局**  
 ～人と企業～